



佛國海軍大尉バンサン・アントアヌ・マリユ、
 アルベルタス・叙勲ノ件
 右謹テ裁可ヲ仰ク
 昭和五年四月二十八日
 内閣總理大臣濱口雄幸



内

閣

昭
和
五
年
四
月
二
十
八
日
内
閣
書
寫
長

内閣書記官

内閣總理大臣

賞勳局總裁



佛國海軍大尉バンサンアントアリス、マリユ、
 アルベルタス叙勳ノ儀調査スルニ右者帝國
 陸軍ノ招聘ニ應シ昭和四年十二月一日
 ヨリ昭和五年四月迄五ヶ月間下志津
 陸軍飛行學校ニ於テ空中航法教育ニ
 從事ス來朝以來終始熱誠ヲ披瀝シテ
 傳授ノ任務ニ盡瘁シ我陸軍ノ空中航
 法ヲシテ將來ニ對シ確固タル基礎ヲ樹
 立セシメタリ

賞勳局

同大尉ハ空中航法ニ關スル蘊蓄深遠
 ニシテ其ノ航法教育ニ當ルヤ一計測器
 ニ關スル操作上ノ機微ヨリ各種飛行
 機ニ於ケル特異ノ點ニ至ル迄適切周到
 ヲ極メ能ク技術上ノ妙諦ヲ專習員ニ
 移シ以テ專習員ノ理解及體驗ヲ深
 刻且徹底的ナラシメ我國軍航法ノ
 基礎ヲ確立セシメタリ

我陸軍航空器材ハ輒近相當ノ發達ヲ遂ケタリト雖モ航法用ノ各種計測器ニ至リテハ未タ統一セル定見並制定無ク戰爭準備ニ於テ遺憾ノ點多カリシカ永年佛國海軍航法器材關與者タル同大尉來朝ノ際自ラ持參セル諸計測器及本教育開始ニ先テ同大尉ノ特別ナル斡旋ニ依リ購入セル佛國秘密審査中ノ計測器ヲ專習員ニ實驗體得セシメ航法上ノ妙技ヲ味ヒ得シメタリ

最近高唱セララル、空中航法並飛行機操縱術中、計器飛行就中其教育ノ順序方法並指導要領等ハ我陸軍航空主腦部ニ於テ銳意研究發達ヲ期シツ、アリシカ今回同大尉ノ教育指導ヲ受クルニ至リ從來ノ疑問難解ノ點一々釋明セラレ教育訓練ノ階梯各課目實施ノ要領等其ノ趨ク所自ラ定マリ將來ニ於ケル此種教育上ニ貢獻セリ從來數度ニ亘ル佛國人教官ノ招聘ニ

依リ我陸軍航空ハ偵察戦闘爆撃
等各其裝備練成運用ニ顯著ナル進
歩ヲ遂ケ得タルモ此等各分科飛行機
行動ノ基礎タル空中航法ニ關シ今回
同大尉ノ指導セル學術科ノ跡ヲ討究
翫味スル時ハ採テ以テ航法上ノ制式又
ハ法則タラシム可キモノ多ク此種典範
改正編纂ノ有カナル資料ヲ提供セリ
以上ノ如ク同大尉ノ熱誠好意アル教育
指導ニ依リ專習員ノ進歩發達ハ勿

論其修得セル技能ハ當ニ將來我飛行
諸部隊ノ教育訓練ノ發達改善ニ資ス
ル所大ナルノミナラス本傳習教育ニ使
用セル器材及其講授録ト相俟テ我航
空部隊及一般航空科學工藝並航空
器材行政其他各種施設ノ進歩發達
ニ貢獻スル所多大ニシテ其功績顯著
ナリ依テ此際外務大臣上奏頭書ノ
通敍勲被仰出可然哉此段允裁ヲ仰ク

裏面白紙

佛國海軍大尉バンサン、アントアーヌ、マリユール、アルベルタス儀
帝國陸軍ノ空中航法傳習ノ教官トシテ傭聘ニ應シ來朝シ別記ノ通我
軍事上ニ功績有之候處今回任務終了歸國可致趣ヲ以テ敍勳ノ儀陸軍
大臣宇垣一成ヨリ申立有之候ニ就テハ此際右功勞ヲ御表彰被遊頭書
ノ通敍勳被仰出候様仕度此段謹テ奏ス

昭和五年四月二十六日

外務大臣 男爵幣原喜重郎



外務省

勳五等雙光旭日章 佛國海軍大尉 **バンサン、アントアーマリユールベルタス**

自國レジョン、ドノール五等勳章所有

右者帝國陸軍ノ空中航法傳習ノ教官トシテ招聘ニ應シ昭和四年十二月一日ヨリ昭和五年四月迄五ヶ月間下志津陸軍飛行學校ニ於テ空中航法教育ニ從事ス同官ハ資性濃厚篤實ニシテ又自ラ進ンテ難局ニ當ルノ美風ヲ有シ現ニ佛國空軍界ニ於ケル屈指ノ權威者ナリ、來朝以來風土習慣ノ變異ニ屈セス終始滿腔ノ熱誠ヲ披瀝シ其卓越セル學識ト豊富ナル經驗ニ立脚シテ傳授ノ任務ニ盡瘁シ以テ搖籃時代ノ我陸軍ノ空中航法ヲシテ將來ニ對シ確固タル基礎ヲ樹立セシメタルモノニシテ其概要ヲ列記スレハ左ノ如シ

77
78

一 空中航法ノ傳授ニ就テ

「ア」大尉ハ非凡ナル航法技術家ニシテ在佛時代既ニ飛行機四十餘種ノ操縦經驗ヲ有シ又佛國海軍計器飛行創設者トシテ佛國空軍中ノ權威者ト呼ハレ空中航法ニ關スル蘊蓄深遠ニシテ海軍大尉ニシテ陸軍航空ノ教官トシテ招聘セラレタル所以茲ニ在リ然シテ其ノ航法教育ニ當ルヤ一計測器ニ關スル操作上ノ機微ヨリ各種飛行機ニ於ケル特異ノ點ニ至ル迄悉ク適切周到ヲ極メ能ク言外ニ於ケル技術上ノ妙諦ヲ專習員ニ移シ以テ專習員ノ理解及體驗ヲ深刻且徹底的ナラシメ俗ニ所謂免許皆傳ノ空中勤務者タルヲ得セシメ我國軍航法ノ基礎ヲ確立セシメタリ

一 空中航法用各種器材ノ改良進歩上ノ貢獻ニ就テ

我陸軍航空器材ハ輒近相當ノ發達ヲ遂ケタリト雖モ航法用ノ各種計測器ニ至リテハ未タ統一セル定見並制定無ク戰爭準備ニ於テ遺憾ノ點多カリシカ永年佛國海軍航法器材關與者タル「ア」大尉來朝ノ際自ラ持參セル諸計測器及本教育開始ニ先チ同大尉ノ特別ナル斡旋ニ依リ購入セル佛軍秘密審査中ノ計測器ヲ專習員ニ實驗體得セシメ筆舌ヲ以テ現示シ能ハサル航法上ノ妙技ヲ味ヒ得シメタルハ實ニ我陸軍空中航法用計測器ノ革新ヲ促スニ充分ナル效果ヲ收メ得タリ

一、空中航法並操縱術教育法ノ改善進歩ニ就テ

最近高唱セララルル空中航法並飛行機操縱術中ノ計器飛行就中其教育ノ順序方法並指導要領等ハ我陸軍航空主腦部ニ於テ銳意研究發

達ヲ期シツツアリシモ未タ幼稚ノ域ヲ脱スルコト能ハサリキ然ル
ニ今回「ア」大尉ノ教育指導ヲ受クルニ至リ從來ノ疑問難解ノ點
一々釋明セラレ教育訓練ノ階梯、各課目實施ノ要領等其總ク所自
ラ定マリ將來ニ於ケル此種教育上ニ貢獻セリ

一、教練假規定其他諸教育假規定編纂改訂上有益ナル資料提供ニ就テ
從來數度ニ亘ル佛國人教官ノ招聘ニ依リ我陸軍航空ハ偵察、戰鬥、
爆撃等各其裝備練成運用ニ顯著ナル進歩ヲ遂ケ得タルモ此等各分
科飛行機行動ノ基礎タル空中航法ニ關シテハ憑據タラシム可キ典
範上ノ準繩ヲ缺キアリシニ今回「ア」大尉ノ指導セル學術科ノ跡
ヲ討究翫味スル時ハ採テ以テ航法上ノ制式又ハ法則タラシム可キ
モノ多ク此種典範改正編纂ノ有力ナル資料ヲ提供セリ

以上要スルニ「ア」大尉ノ熱誠好意アル教育指導ニ依リ專習員ノ進歩發達ハ勿論其修得セル技能ハ嘗ニ將來我飛行諸部隊ノ教育訓練ノ發達改善ニ資スル所大ナルノミナラス本傳習教育ニ使用セル器材及其講授録ト相俟テ我航空部隊及一般航空科學工藝並航空器材行政其他各種施設ノ進歩發達ニ貢獻スル所多大ニシテ其功績顯著ナリト認ム

急

51

人普通第一七三號

外務第一一號

昭和五年四月二十六日

外務大臣 男爵幣原喜重郎

内閣總理大臣 濱口雄幸 殿

佛國海軍大尉「アルベルタス」 殺勳ノ件

佛國海軍大尉「バンサン、アントアーム、マリユ、アルベルタス」
Venant Antoine Olivier Albertus
殺勳ノ儀別紙ノ通上奏致候間至急可然御取計相成度此段申進候也



外務省

裏面白紙

本件
相成

内

二十六日

外務大臣 男爵幣原喜重郎

濱口雄幸殿

尉「アルベルタス」絛勳ノ件

ンサン、アントアーヌ、マリユ、アルベルタス」
ment dubois, Maurice, Albertas.
上奏致候間至急可然御取計相成度此段申進候也



外務省

4.12 +

本件勳章ハ本月三十日朝廷ニ下付
相成候様御取計相成度及御依頼候
四月二十六日

内閣書記官 御中

外務省